

各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

フリージア・マクロス
代表取締役社長 奥山 一寸法師
6343)
経理部長 篠崎 温儀
03-5818-1522)

業績予想に関するお知らせ

当社は、平成23年8月11日に公表いたしました業績予想において、未定としておりました平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、下記のとおりとしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	5,339	471	277	△105	△0.24
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,332	306	208	△90	△0.20

修正の理由

平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、未定としておりましたが、最近の経済情勢及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

当第2四半期累計期間につきましては、当社及び連結子会社8社の業績は順調に推移しております。しかし、当社が約26%の株式を保有している技研興業株式会社の上期業績が約4.5億円の赤字のため、当社は、持分法による投資損失を約1.2億円計上し、上期では純利益が赤字となりますが、下期においては、約2.1億円の純利益が見込めるため、平成23年8月11日に公表した通りに通期業績は順調に推移すると想定され、平成24年3月期通期の連結業績予想の変更はありません。

技研興業株式会社は、公共事業主体の工事会社であり東日本大震災関連の復旧工事の発注時期の遅れ等が上期業績に影響いたしましたが、受注高は前年より大きく増加しており、通期では黒字予想との発表であります。したがって、当社の持分法による投資損益は、下期には、約1.2億円以上のプラスになり、通期でもプラスになると予想されます。

なお、当社は技研興業株式会社の経営に関与しておらず、技研興業株式会社の業績を予め予想することは困難であるため、当社の業績予想には技研興業株式会社に関する持分法による投資損益は0と想定しております。

(注) 上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上